



## 三人寄れば文殊の智恵

### —同じ排泄ケアを異なる視点から捉えたら？—

わが愛知排泄ケア研究会に参加する皆さんにはおなじみの「多職種連携」。

排尿・排便の障害というのは、単純に薬を飲めば、はい終わり、というような単純な解決が出来るケースばかりではなく、医療関係、福祉関係はもとより、病院や施設の内外のあらゆる職種が智恵を出し合って個々の症例に最適な対処方法を考えなくてはならない場面もしばしば出てきます。

さて、最近は医師だけではなくケアの分野でも専門分野を極める人がどんどん輩出されています。同じ看護職の中でも排泄ケアは勿論のこと、感染症や在宅看護等々、様々な場面に強みを持った認定・専門看護師さんが連携の要となることは多々あります。

今回、複数の専門職がおなじみの「カテーテル管理」を同時多発的に分析してみる「ラウンド・テーブルディスカッション」にトライしてみましょう。

#### 【ディスカッションメンバー】

- |              |                      |
|--------------|----------------------|
| 感染管理認定看護師    | ：大城和人さん              |
| 訪問看護認定看護師    | ：伊藤裕基子さん             |
| ソーシャル・ワーカー   | ：野田智子さん （以上・江南厚生病院）  |
| 皮膚・排泄ケア認定看護師 | ：小副川知子さん             |
| がん性疼痛認定看護師   | ：奥村佳美さん （以上・小牧市民病院）  |
| コーディネーター・司会  | は吉川羊子（排泄ケア研究会）が担当します |

- ・ 会員は勉強会参加に関しては、何度の受講においても無料です。
- ・ 非会員の方でも 1000 円で聴講が可能です（事前申込不要）。